



2020年度 研究科合同 研究倫理プレセミナー

Beyond Borders



倫理を考えるための First Step

**研究倫理とは何か？
どうして必要なのか？**

について

**短い時間ですが、
考えていきます。**

- **捏造(ねつぞう):**
存在しない事実、データを作成すること
- **改ざん:**
研究資料・機器・過程を変更し、研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工すること
- **盗用:**
他研究者のアイデア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を当研究者の了解、適切な表示なく流用すること

研究倫理は建前上重要？

ではなく

倫理を考える＝研究を深める

すなわち

**質の高い研究は
研究倫理を配慮した上で
実施されている**



【参考資料】

日本学術振興会
「科学の健全な発展のために」

オリエンテーションバッグに
入れています。自宅で読んでくだ
さい。

そもそも研究とは何か？

「真理の探究」

新しい知識の発見を
人類全体が継承・発展する営み
人類が共有するかけがえのない資産

グリーンブック セクション I, VIII

研究を進める上での重要なのは

“研究のルール” を理解すること

研究の進め方、発表の仕方、倫理の考え方も**研究領域によって異なります**。研究倫理は、まさに大事なルールの一つです。

グリーンブック セクション I, VIII

改めて 研究倫理とは？

・公正な研究のために

何のための研究であり、研究の妥当性は保たれているのか？

・法令等の遵守

研究において守るべきものは何か

例：研究環境、研究対象者、研究環境

グリーンブック セクション I, II, VIII

代表的な研究不正事件

『シェーン事件(2002年)』

グリーンブック P.48

ヘンドリック・シェーン

1998年 コンスタンツ大学

2000年 29歳で「ネイチャー」に論文掲載

しかし、実験データのねつ造嫌疑がかかる

2002年 シェーンのねつ造発覚 研究不正

→ねつ造および改ざんによって学位はく奪

研究倫理を学ぶ必要性

- **自立した研究者として扱われるため**
- **研究を完成させるため**
研究倫理審査を受審するのは研究を始める前
研究を始めた後では、やり直しになる可能性も

まずは研究倫理の標準的な進め方を知る

**研究倫理は
研究者にとっての
「べからず集」
ではなく**

**実際に行動し、
示していくことが重要！**

研究の標準的な進め方を知る

① 研究計画を立てる
グリーンブック セクションII

② 研究を進める
グリーンブック セクションIII

③ 研究成果を発表する
(ハゲタカジャーナルに注意)
グリーンブック セクションIV

研究倫理に関する問い合わせ

研究部研究倫理ページ

http://www.ritsumeai.ac.jp/research/member/study_ethic/se01.html/

研究部研究倫理ページ

http://www.ritsumeai.ac.jp/research/member/study_ethic/se01.html/

立命館大学研究倫理指針

<http://www.ritsumeai.ac.jp/file.jsp?id=230326&f=.pdf>

立命館大学研究活動不正行為防止規程

<http://www.ritsumeai.ac.jp/file.jsp?id=230322&f=.pdf>





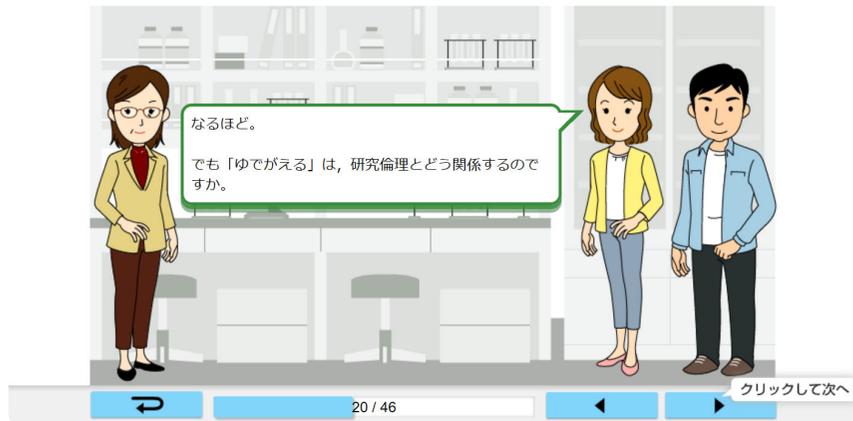
研究倫理e-learning 「eL CoRE」を受講しましょう。

<https://elcore.jsps.go.jp/top.aspx>

Japan Society for the Promotion of Science
日本学術振興会

マイルーム コース情報 目次 学習成績 ガイダンス

e-learning の受講証明書が発行されます
色々な場面で活用可能です



e-learning 終了後、画面に表示されるので 印刷または、データの保存をおススメします！

**挑戦をもっと自由に
素敵な研究ライフを！**